



海軍大尉從六位勲六等高松稱始四名
敘位進階内則第五條依り位階進級

右謹テ奏ス

明治廿八年十一月十六日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

閣

多田

207

海八九

明治廿八年十二月十六日

内閣書記官

内閣總理大臣代 栗田

内閣書記官長

海軍大尉後六位勲六等高松稱外三名叙位進階内則第五條ニ依リ位階陞叙ノ件

海軍大尉後六位勲六等高松 稱

全 全 正七位全 小林 庸平

全 全 全 村本 傳次

内閣

海軍大機関士 正七位 蘆田 常德 特旨ヲ以テ位一叙被進

後六位勲六等高松 稱

叙正六位

正七位勲六等 小林 庸平

全 全 村本 傳次

正七位 蘆田 常德

叙後六位

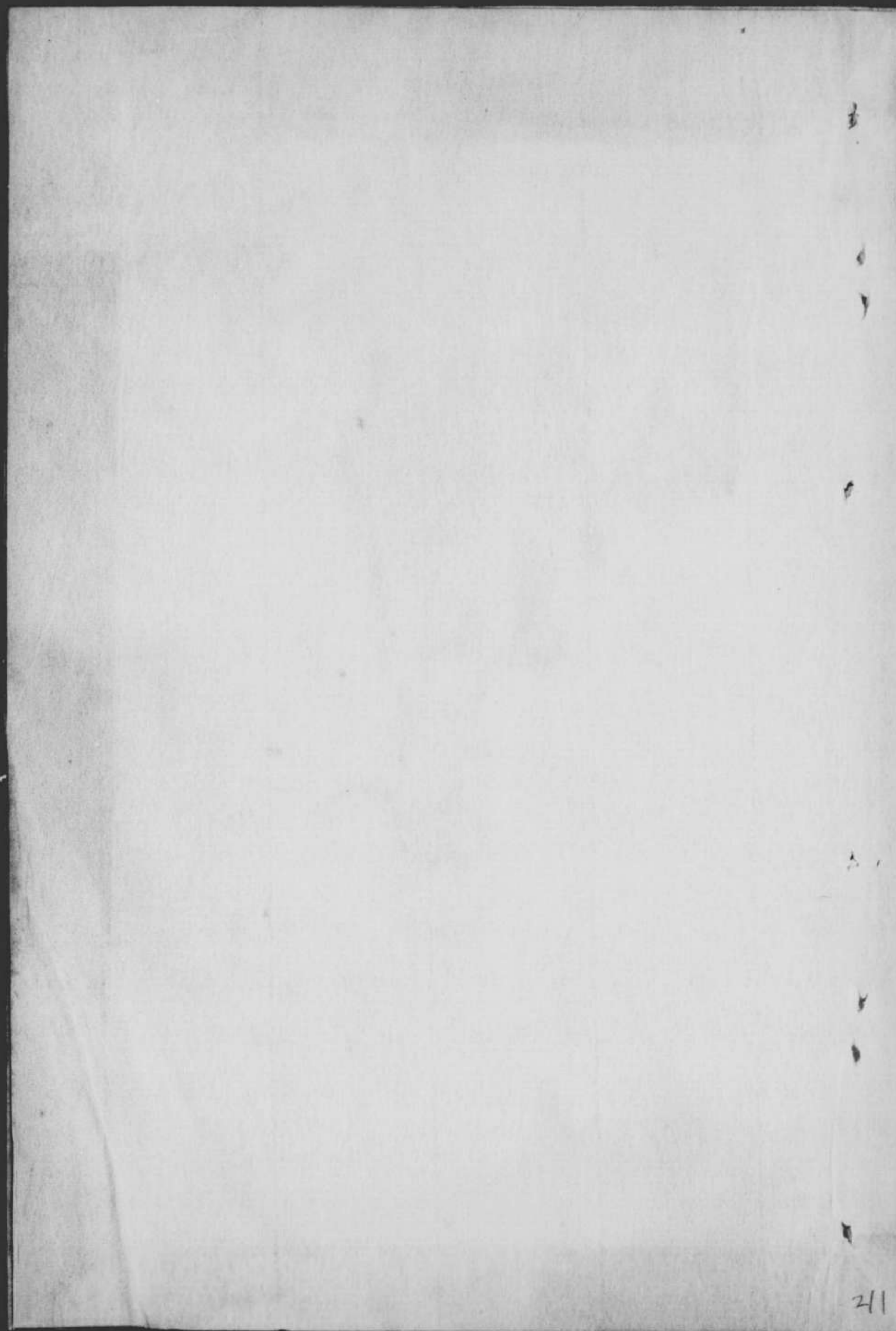
高松村本ノ西海軍大尉及蘆田大機漕士ハ在
 職滿六年以上ニシテ曩ニ年齢滿限ニ依リ
 後備被仰付小林大尉モ同シク六年以上ニシテ
 豫備被仰付候處日清戦争ニ関シ召集ヲ令
 シ就職中孰モ功勞アル者ニ候然ルニ今般
 召集ヲ解クハキニ付叙位進階内則第五條ニ
 據リ此際特ニ各位一級進メラレ度別紙上奏書
 進達ス

明治二十八年十一月十六日

海軍大臣候爵西郷從道



内閣總理大臣候爵伊藤博文殿



21

